

幹部裁判官の名簿(修習期順)

H31.1.1 火 時点

59期弁護士 山中理司(大阪)

- *1 最高裁につき、①最高裁判官15人(裁判官6人は赤字、弁護士4人は濃い青文字、その他の枠5人は緑文字)、②事務総長及び局長6人(民事局長及び行政局長は兼任)、③審議官、④秘書課長(広報課長兼任)、⑤情報政策課長、⑥首席調査官及び上席調査官3人、⑦司法研修所(一司研)の所長、事務局長及び上席教育官並びに⑧裁判所職員総合研修所(一総研)の所長を掲載した(合計35人)。
*2 高裁につき、①高裁長官9人(紫文字)、②知財高裁所長、③高裁支部分長6人、④高裁事務局長8人、⑤高裁本庁、知財高裁及び支部分部の総括を掲載した。なお、高裁長官3名、6民、13民及び18民は、平成16年4月1日に東京高裁の財産部(4つの部)となり、平成17年4月1日に知財高裁第1部ないし第4部に移行したため、欠番となっている。
*3 地裁につき、①所長、並びに②東京地裁立川支部(平成21年4月20日の移転前は東京地裁八王子支部)を始めとする14の大規模支部(支部長とは別に総括がある支部)の支部長を掲載した。東京簡裁司法行政事務管理裁判官(=東京簡裁司事裁判官)(裁判所法37条参照)の兼任者、東京地裁及び大阪地裁の所長兼支庁長を掲載した。
*4 高裁総括の場合、28期は0人、30期は0人、31期は0人、32期は0人、33期は0人、34期は3人、35期は24人、36期は25人、37期は23人、38期は9人、39期は0人、40期は0人である。
*5 地裁総括の場合、大規模支部の支部長並びに東京地裁及び大阪地裁の所長代行者の場合、27期は0人、28期は0人、29期は0人、30期は0人、31期は0人、32期は0人、33期は0人、34期は0人、35期は0人、36期は0人、37期は0人、38期は22人、39期は22人、40期は16人、41期は8人、42期は6人、43期は3人、44期は0人、45期は2人である。
*6 43歳は0人、44歳は0人、45歳は2人、46歳は0人、47歳は3人、48歳は0人、49歳は1人、50歳は3人、51歳は0人、52歳は1人、53歳は3人、54歳は1人、55歳は2人、56歳は8人、57歳は17人、58歳は21人、59歳は19人、60歳は31人、61歳は30人、62歳は31人、63歳は31人、64歳は14人、65歳は1人、66歳は2人、67歳は3人、68歳は0人、69歳は4人である。
*7 出身大学(元裁判官の多い順。判明人数は218人)につき、東大は93人、中央大は16人、京大は30人、早稲田大は2人、東北大は2人、明大は2人、名古屋大は3人、一橋大は7人、慶応大は7人、関西大は2人、日本大は0人、大阪市大は0人、岡山大は0人、神戸大は4人、法政大は1人、同志社大は0人である。
*8 「遅れ」につき、現役で大学に入学し、4回生で卒業し直後に司法修習生となった場合、遅れ年数は0年であり、現役で法科大学院に入学し、卒業直後の司法試験に合格して司法修習生となった場合、遅れ年数は2年である。また、「玉突き」につき、a1は玉突き人事の1番目、a2は玉突き人事の2番目、a3は玉突き人事の3番目を意味し、b1以下及びc1以下は、同じ日付の別の玉突き人事を意味する。

Table with columns: 番号, 氏名, 期, 出身大学, 生年月日, 定年退官発令予定日, 遅れ, 現職, 前職1, 前職2, 前職3, 前職4, 前職5, 前職6, 前職7, 前職8, 氏名. Rows list judges and their career paths, including court positions and administrative roles.

Table with columns: 番号, 氏名, 期, 出身大学, 生年月日, 定年退官 発令予定日, 遅れ, 年齢, 現職 在職日数, 定年までの 在職日数, 玉突 現職 就任日, 現職, 前職1 就任日, 前職1, 前職2 就任日, 前職2, 前職3 就任日, 前職3, 前職4 就任日, 前職4, 前職5 就任日, 前職5, 前職6 就任日, 前職6, 前職7 就任日, 前職7, 前職8 就任日, 前職8, 氏名.

